

社 会
(地 図)

(4) 地図

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	<p>(1) 社会的な見方・考え方を働かせながら、学習の問題を追究・解決する学習活動など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、必要な情報を調べ、まとめる技能を身につけるため、地図帳を資料として活用する工夫</p> <p>・47都道府県の名称と位置及びその概要、世界の主な大陸と海洋の名称と位置を身につけることができる工夫</p> <p>(2) 社会的事象の特色、意味及び社会に見られる課題などについて、多角的に考えたことや選択・判断したことを論理的に説明したり、立場や根拠を明確にして議論したりするなどの言語活動をより活性化させるため、地図帳を資料として活用する工夫</p> <p>(3) コンピュータなどを活用して、情報の収集やまとめなどを行ったり、地図を活用することにより、位置や空間的な広がりに着目したりして、社会的事象を捉える見方・考え方を養う工夫</p> <p>(4) 学習したことを振り返り、学習成果を吟味したり新たな問いを見出したりすることや、さらに学んだことを基に社会生活に向けて生かすことができるような工夫</p> <p>(5) 身近な地域及び国土の遺跡、文化財、生産物などについての調査活動を取り入れるための工夫</p> <p>(6) 地図への親しみをもち、問題解決のための資料として効果的に活用する技能や調べる意欲を育成する工夫</p> <p>(7) 他の教科等や中学校との関連を図った学習活動を充実するための工夫</p>
2 使用上の便宜	<p>(1) 内容別配当の分量</p> <p>(2) 教材・資料等の分量</p> <p>(3) 造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫 など</p>
3 その他	<p>・今日的課題への配慮</p>

地図

1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
2 東書	<p>●着眼点(1)について 産業、歴史、文化、気候など、様々な資料が関連付けられており、社会的な見方・考え方を生かした学習が進められるよう工夫されている。 〔例〕 (P67～P82)</p> <p>各都道府県の名称と位置及びその概要について、特産品等が掲載されたり、クイズ等の楽しい活動のコーナーが設定されたりと、多様な方法で学習できるよう工夫されている。 〔例〕 (P4～6、P17～52)</p> <p>●着眼点(2)について 探求課題に沿った学習をする際に活用できる資料が掲載されており、言語活動に生かすことができるよう工夫されている。 〔例〕 (P67～P86)</p> <p>●着眼点(3)について ドローン動画、デジタル地図及び白地図などが利用できるなど、アニメーションによる解説等で、地図の基礎知識や地図帳の使い方を学ぶことができるよう、二次元コードが配置されている。〔例〕 (P4、P6、P9)</p>	<p>●着眼点(4)について 京都、奈良及び東京の市街図が掲載されており、修学旅行、校外学習などの事前学習で活用できたり、地図上のイラストを手がかりに調べたりするなど、学びを広げられるよう工夫されている。 〔例〕 (P33～34、P45～47)</p> <p>●着眼点(5)について 国内の世界遺産、郷土料理、行事などが写真やイラストで紹介され、地域の伝統や文化に根ざした資源に目を向け、保護、活用につながるよう工夫されている。〔例〕 (P79-80)</p> <p>●着眼点(6)について 「ホップ、ステップ、マップでジャンプ」コーナーが設けられており、楽しみながら地図学習ができるよう工夫されている。また、「地図のきまり」「地図帳の使い方」が設置されており、地図の基本について、キャラクターがガイドをしながら、詳しく説明されている。 〔例〕 (P7～P14)</p> <p>●着眼点(7)について 外国語活動・外国語、道徳科、理科等、様々な教科で活用できる地図や資料が掲載されている。また、中学校の地図帳との接続を見据え、小学校段階での学習の充実と発展を図ることができるよう工夫されている。 〔例〕 (P1～3、P55)</p>

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
46 帝国	<p>●着眼点(1)について 産業、歴史、文化、気候など、様々な資料が関連付けられており、社会的な見方・考え方を生かした学習が進められるよう、工夫されている。 〔例〕 (P95～P110) 都道府県の名称、位置及びその概要を、各地の有名なものや特産品等を掲載したり、形や文字に注目するトピックスを設けたりすることで多様な方法で理解を助ける手だてがとられている。 〔例〕 (P4～6、P21～80)</p> <p>●着眼点(2)について 探求課題に沿った学習をする際に活用できる資料が掲載されており、言語活動に生かすことができるよう工夫されている。また、言語活動を促す設問が示されている。 〔例〕 (P95～P114)</p> <p>●着眼点(3)について 学習内容を深められるドローン動画、VR 動画、デジタル地図などのデジタルコンテンツにアクセスでき、アニメーションで土地の高さや地図の仕組み等の地図の基礎基本を学ぶことができるよう二次元コードが配置されている。 〔例〕 (P1、P4、P7)</p>	<p>●着眼点(4)について 「地図マスターへの道」とキャラクターの吹き出しを結びつけて学習することで、新たな問いを見つけられるよう工夫されている。 〔例〕 (P21～36、P39～46)</p> <p>●着眼点(5)について 国内の世界遺産の写真や旧国名がついている食べ物のイラスト、日本の略年表を載せたりするなど、地域の伝統や歴史・文化に根ざした資源に目を向け、保護、活用につながるよう工夫されている。 〔例〕 (P109～110、P127)</p> <p>●着眼点(6)について 「地図マスターへの道」コーナーを各所に配置し、子どもの興味・関心をひきつけるよう工夫されている。また、地図帳の導入として、地図帳の基本について、キャラクターの会話形式の本文で端的に説明されている。 〔例〕 (P7～P20)</p> <p>●着眼点(7)について 外国語活動・外国語や道徳科、音楽科などでも活用できる資料が掲載されている。また、中学校においても地図帳を活用し学習できる力を育むため、日本と世界についての教養の基礎・基本が身につくよう編修されている。 〔例〕 (P1～3、P40)</p>

2 使用上の便宜

項目 発行者の 番号・略称	(1) 内容別配当の分量											(2) 教材・資料等の分量						
	総ページ	地図の 学び方	主題 図	基本図						巻末 統計資料	索 引	その 他	写 真 資料 掲載数	基本図ページにある 図や資料			国 旗 掲 載 国 数	三 重 県 に 関 する 記 述
				日 本 全 図	日 本 地 域 図	大 都 市 周 辺 図	日 本 周 辺 図	世 界 全 図	大 陸 別 図					主 題 図 数	鳥 瞰 図 数	資 料		
2 東書	102	8	24	6	20	13	2	3	12	4	10	0	107	3	9	21	197	22
4 6 帝国	132	14	32	12	20	23	2	3	12	4	9	1	83	6	14	25	197	29

(3) 造本上の特徴、特別な配慮を必要とする児童への配慮、編集上の工夫等

2 東書	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した再生紙と植物油インキが使用されている。4年間の使用に耐えられるよう丈夫な糸かがりによって綴じられ、中央部を十分に開いて紙面を見ることができるよう工夫されている。折り込みページには、折り目を強化する加工が施されている。 ・文字は大きく示し、ユニバーサルデザインフォントが使用されている。赤文字の都道府県名や国名には、白色で縁取りを付すなど、色覚の個人差に配慮されている。 ・世界地図・日本地図の全体図に始まり、日本列島を見渡す地図、日本の地方図と都市圏図、世界全図、世界の州ごとの地図、資料図、統計資料、索引と系統的に配列されている。 ・使用頻度の高い統計資料、索引に十分なページ数がとり、行間をあけるなどの工夫がなされている。また、索引にはチェック欄を設けて積極的な活用に向けて工夫されている。
4 6 帝国	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した再生紙と植物油インキが使用されている。糸かがりの方法を用いるとともに、軽くて丈夫な用紙を使用し、4年間の使用に耐えられるよう製本されている。折り込みページには、折り目部分の表面をコーティングして補強されている。 ・ユニバーサルデザインフォントが使用され、赤文字の都道府県名や国名には、白色で縁取りをするなど、色覚特性に配慮されている。また、色づかいや紋様などの表現が工夫されている。 ・「広く見わたす地図」→「日本の各地方を見る地図」→「世界の地図」の順に配列されており、活用度の高い使用学年ごとに配慮されている。都市周辺の地方拡大図は、「日本の各地方を見る地図」の該当箇所に挿入されている。 ・使用頻度の高い統計資料、索引に十分なページ数をとるとともに、行間をあけるなど工夫されている。また、索引には日本の地名を都道府県名は赤太字、県庁所在地名は赤字、歴史地名は青字など4色で統一するよう工夫されている。

3 その他

発行者の 番号・略称	今日的課題への配慮
2 東書	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本とそのまわり」では、日本の領土の範囲と周辺諸国を提示し、日本の位置や範囲について理解が図れるように、領土・領海・排他的経済水域などの概念を模式図で表したり、日本の東西南北端の島々を地図と写真を組み合わせたりして、確認できるよう工夫されている。 ・日本列島全体の自然災害地図と主な災害の写真を掲載し、また、ハザードマップ（防災マップ）の例を示して、自分の地域における防災について理解を深められるよう工夫されている。 ・ESD、環境教育への取組として、「日本の世界遺産（自然遺産及び文化遺産）」「ラムサール条約」「世界ジオパーク登録地」が地図上に示されている。 ・持続可能な開発目標（SDGs）について、映像などをもとに学ぶことができるサイトとして「SDGs わたしたちがつくる未来」が設けられている。 ・国際理解・グローバル教育への取組として、世界の民族衣装のイラストから、多様な暮らしや生活文化について関心が高まるよう工夫されている。また、世界について理解が深まるよう、世界の動物や料理に関する資料が掲載されている。
4 6 帝国	<ul style="list-style-type: none"> ・日本列島と周辺諸国の位置関係を正しく理解できるように、領土・領海・排他的経済水域などの概念を模式図で表したり、日本の東西南北端の島々、北方領土、竹島、尖閣諸島などを地図と写真を組み合わせたりして、確認できるよう工夫されている。 ・防災意識が高められるように、日本列島で起こった自然災害の事例を学ぶページを設け、子ども自らが自然災害から身を守るためにできることを考えられる「防災マップづくり」が紹介されている。 ・自然を大切に育てる態度を育めるよう「天然記念物」「貴重な動植物」「世界自然遺産」「ラムサール条約登録湿地」「世界ジオパーク」などがイラストや絵記号で掲載されている。 ・持続可能な社会を実現するための考え方を育めるように、SDGsの特設ページを設け、全編を通して、SDGsに関連する写真や図表にSDGsのアイコンが配置されている。 ・他国の理解が深まるように、世界の州別地図及びアメリカ合衆国の地図には、産業、文化、世界遺産に関わるイラストや現地生活の生活がわかる写真が掲載されている。